

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

平成29年 7月11日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	500kVOFケーブル表面温度記録計において、打点No.10「1号洞道温度」指示値のダウンスケール(指示値の目盛板下限値未満)が認められたため、当該記録計を点検・修理。	GⅢ	
2	4号機	計装用圧縮空気系原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器(1)供給空気分岐箱(RJB-5-5)内の計装用圧縮空気系圧力指示計排水弁において、排水弁ハンドル付け根部より空気の漏えいが認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、分岐箱内の計装用圧縮空気系供給元弁を全閉にし、漏えい停止。	GⅢ	
3	1・2号廃棄物処理設備	放射性ドレン移送系廃棄物処理建屋ボイラー棟ストームドレン系サンプポンプ(A)出口逆止弁点検において、調達部品の寸法違い(図面が改訂されていなかった)が認められたため、原因調査・対策検討。	GⅢ	